

平成30年度 新規採択要望箇所の概要

1. 事業概要

事業名	県営農地整備事業
事業箇所	黒瀬谷地区(富山市八尾町岩屋ほか地内)
事業量	受益面積 139.7ha
事業内容	用水路(パイプライン)17.5km、除塵機2基、暗渠排水55.9ha、客土11.4ha
総事業費	12億円
予定工期	平成30年度～平成37年度

2. 事業の必要性

- ・本地区は、昭和40年代に団体営ほ場整備事業「黒瀬谷地区」により、30アールでの区画整理及び管水路による用水路(パイプライン)が整備されている。施設の竣工から40年以上経過し、設備の劣化や流化能力が低下し、パイプラインにおいては漏水による陥没及び管路の破裂等により、水管理や維持管理に多大な労力と費用を要している。
- ・このため、施設の更新により機能を回復するとともに、①ICTを活用した自動給水栓の導入と法人による水管理の一元化による水管理の合理化・省力化、②既存法人への農地集積・集約化、③暗渠排水による汎用化とともに、排水対策や土づくりを徹底し、水稻の収量・品質向上、④経営の安定化を図りつつ、基盤強化の観点から、JAあおばの1億円産地づくり戦略品目のにんじん等の導入による経営の複合化・多角化に向けて取り組むものである。

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・団体営ほ場整備事業「黒瀬谷地区」として整備された一体地区であり、既存1法人が農地集積に向けた検討や整備内容のとりまとめなど、話し合いによる合意形成を地区一体となつて進めてきている。
- ・既存法人への集積・集約化と新たな水管理システムの導入により、既存法人による水管理の一元化に取り組むことが可能となることから、高齢化や担い手不足が進む中山間地域においても、農業経営の安定と強化が図られる。
- ・担い手への農地集積率(現在68.4%)を89.4%へ引き上げる目標としている。(県全体H28末:57.6%、富山市34.0%)

4. 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.01
- ※作物生産、営農経費節減による便益
- 〈その他の費用便益として表せない効果〉
- ・農業生産法人への集積拡大による農業経営の安定化
- ・水管理のICT化による多様な水管理や水路転落事故の防止
- ・耕作放棄の発生防止

5. 推進体制

- ・富山市、久婦須川用水土地改良区から要望あり。
- ・久婦須川土地改良区、富山市、JAあおば、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。

県営農地整備事業 黒瀬谷地区 計画平面図



高収益作物の導入



農地集積状況図(現況)



農地集積状況図(計画)



水管理時間の削減



担い手への農地利用集積

